
Coruche

について

コルシェ

リバテージョ地方（Ribatejo）の沖積平野に位置し、アレンテージョ地方（Alentejo）に近いコルシェ（Coruche）は、昔ながらのどかな村です。背の低い白壁の民家が、ソライア川（Rio Sorraia）に沿って広がる野にきちんとした家並みを見せて並んでいます。

周囲を肥沃な土地に囲まれているため、この地方では農業と馬の飼育が盛んに行われています。あたり一帯には、コルクを採取するためのコルク櫛の林が広々と広がり、ひととき風景の中で目を引きます。コルシェは、国内でも有数のコルクの産地となっています。

また、コルシェには、かつての時代を物語るさまざまな史跡が残されています。例えば、ローマ時代に起源があるコロア橋（Ponte da Corôa）やモンテ・ダ・バルカの中世の水道橋（Aquaduto do Monte da Barca）、その他17世紀のものを中心としたいくつかの教会です。

周辺では、アゴラダ堰（Açude da Agolada）やモンテ・ダ・バルカ堰（Açudes do Monte da Barca）が、さわやかな行楽地として夏には大変なにぎわいをみせます。